



TANO



TANO はセンサーの前に立つだけで、体の動きや音声に反応して楽しめるソフトウェアです。80種類以上のプログラムは、リハビリテーションやトレーニングとして活用できます。今回はその中で「魚釣りゲーム」というシリアスゲームを紹介します。



「楽しい!」だけじゃない 社会の問題を解決する シリアスゲーム

シリアスゲームとは、エンターテインメントとして楽しいだけではなく、社会の問題を解決することを目的としたゲームのことです。

この「魚釣りゲーム」は福祉施設内などにおいて、なかなか釣りに行く事のできない方に向けたゲームです。簡単なルールで安全な設計がコンセプトです。魚は100種類以上あり、ウキの引き方も100通りです。登場する魚の写真は、地元の平塚市漁協組合から提供して頂きました。



集中したり、からだを動かすことで
リハビリテーションにつながっていく



魚を釣る動作を「ボタン」を押すという仕組みから「センサーで奥行を読み取る」というルールに変更しました。

それにより、棒状にした新聞紙でも釣り竿の役目をする事ができますし、手や足を使った釣りもできます。慣れてくると引き方で魚がわかるようになっていきます。

このゲームをすることで、施設利用者は、動きのある遊びができるようになり会話も広がりました。また、じっとしていないと魚が逃げてしまうので、手の震えが止まって、文字が書けるようになったという報告もあります。



他にも利用方法を変えると色々な発見や活用、効果があるかもしれませんね。